



小田小だより

平成25年 4月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011
<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/> 横浜市立小田小学校



ご入学、ご進級おめでとうございます！

～小田小の花々に思いを寄せて～

学校長 木村 昭雄

春の風にそよと揺れる校庭の木々。職員玄関前の見事に咲いたチューリップやツルコザクラの花々と柔らかな日の光。4月1日、小田小学校に初出勤した時の光景です。素晴らしい伝統を築き上げている小田小学校の第八代校長として着任した喜び、緊張感、そして心の底からわき上がってくる熱き思い。小田小学校長としてのスタートを切ったあの日、あの時の気持ちは咲き誇る花々の光景とともにいつまでも忘れないようにしたいと思っています。

4月1日付けをもちまして、福田仁校長の後任として着任いたしました、木村 昭雄(きむら あきお)です。前任は、神奈川区の中丸小学校に勤務しておりました。どうぞよろしく願いいたします。

さらに、保科優子副校長ほか9名の教職員の方々がこの春の人事異動で離退任され、新たに10名の教職員が着任いたしました。詳細につきましては本学校だより次項をご覧ください。

4月3日は嵐のような風雨が桜の花びらに襲いかかりました。しかし、たとえ枝が折れても散ることのない花びらがまだ残っています。桜は、百人一首の中でも「ひさかたの 光のどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ(紀友則)」と詠まれているように、か弱い花のように思われがちですが、実は、受粉し次の世代への橋渡しをしない限りは散ることのない、つまり、自らの責任を果たさない限りは決して散らないとても強い意志をもった花なのです。

今日のこの時を待っていたそんな素敵なくつかの桜の花と、植木鉢やプランターの花々が新たな門出のすべてを祝ってくれているようです。これらの祝い花の中を新入生102名とともに、一学年ずつ進級した子どもたちが心を弾ませ、元気に登校してきた姿を見て、とてもうれしく思っています。とは言え、新しい生活のはじまりには、だれでも期待と不安を抱くものです。1年生はもちろんのこと、全校の子どもたち一人ひとりに対する気配りと心配りを丁寧に行い、すべての子どもが順調なスタートがきれるようにしたいと考えております。

さて、この学校だよりを読んでいただいている今、ご家庭では夕食時でしょうか。それとも、忙しさが少し通り過ぎた団らんのひとつときでしょうか。新たな学年・クラス、新たな担任・職員、友達と出会うこの時期、各ご家庭ではどんな助言をお子さんに送っていただいていますでしょうか。皆様もご存じのように、子どもたちは私たち教職員はもちろんのこと、身近な大人の見方や考え方、心のありように学びながら「自ら」を創っていきます。肯定的な環境からは、肯定的な価値観をもった人が育つと言われていきます。その逆は言わずもがなです。新たな出会いの中で、「今度のクラスでも、だれとでも仲良くなれると嬉しいな・・・」「新しい先生からも大切なことを学ぶ努力をするめあてをもてるといいね！」など、各ご家庭のお子さんに合った言葉がけを是非ともしていただきたいと思います。何事もはじめが肝心です。新学期、ご家庭でもお子様の様子を普段より少し気にかけていただき、何かご心配なこと等がございましたら学校にお知らせください。

本校は「元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく小田小学校」を学校教育目標に掲げ、保護者、地域の皆様方のご理解とご支援のもと、地域ぐるみで子どもたちを育ててきております。今後も、この取組を充実・発展させ、子どもたちが様々な場面で多くの人とかかわることを通して学び、成長していくことを大切にしていきたいと考えております。

結びになりますが、教職員一同、本年度も保護者の皆様、地域の皆様方の支えをいただきながら、教育活動の一層の充実に努めてまいりたいと思っております。何卒、よろしくお願い申し上げます。